

2017年11月吉日

報道関係者各位

日本唯一の広告ミュージアムが開館15周年を機にリニューアル！

2017年12月1日（金）

「アドミュージアム東京」リニューアルオープンのお知らせ

「アドミュージアム東京」（東京・汐留）は、2002年12月に日本初の広告ミュージアムとしてカレッタ汐留に開館しました。この度、開館15周年を機に全館リニューアルする運びとなりました。

明るく開かれたスペースへと生まれ変わったアドミュージアム東京を是非ご覧ください。

（ブランドステートメント）

いつも、あなたに、新しい発見を。

人間のもつ普遍的な面白さ、愛おしさを
表現してきたたくさんの広告は、
人の心を動かすアイデアの宝庫。

笑いや涙、驚きや共感。
心を惹きつけるものは、時代をこえて、
根っこの部分でつながっている。

人が生み出してきたたくさんの広告を通して、
気づきや、新しい発見と出会ってほしい。

広告って、やっぱり面白い。

アドミュージアム東京へ、ようこそ。

常設展示：「ニッポン広告史」

ピーター・ドラッカーに「マーケティングの原点は日本の江戸にあり」といわしめた江戸時代の広告から現在までの広告を通して、社会と広告の関わりや広告領域の変化など、新しい視点での広告をご覧ください。また、時代を超えて人の心を動かしてきた広告を厳選して紹介する視聴ブース、約2,000点の広告がご覧いただけるコレクションテーブルもみどころです。

企画展示：オープニング特別企画展 「『思いつく』を考える展」

話題のヒット作、便利な日用品など、優れたアイデアの裏側には何があるのか。リニューアルオープン後初となる企画展では、「思いつく」努力の過程に迫り、考えることの面白さを伝えていきます。明日からの仕事や生活をちょっとだけ変えるヒントになればという想いから生まれた企画です。

▶ アドミュージアム東京について

広告を通して新しい発見に出合う場所。世界に例のない広告ミュージアム

2002年に開館以来、200万人を超える方々にご来館いただき、広告の社会的・文化的価値への理解を深めていただく活動を行っています。江戸時代から現代まで約30万点の収蔵資料を誇り、ライブラリーでは、広告とマーケティング関連書籍の閲覧、広告作品のデジタルアーカイブを検索・閲覧することができます。

入場料：無料

開館時間：火～土 11:00～18:00

休館日：日、月

住所：〒105-7090 東京都港区東新橋 1-8-2 カレッタ汐留 TEL：03-6218-2500

運営団体：公益財団法人 吉田秀雄記念事業財団

常設展示

「ニッポン広告史」～社会と人間を映す鏡～



展示会場イメージ

30万点を超える資料のなかから、日本の広告の発展がわかる資料を紹介。

ピーター・ドラッカーに「マーケティングの原点は日本の江戸にあり」といわしめた江戸時代の広告は、現代のタレント広告やSNSの原点でもあり、見れば見るほど新しい発見があります。広告活動のルーツといえる江戸時代から現代まで、時代と広告、人と広告の関わりの歴史を、当館のコレクションを中心に、映像やデジタル展示も交えてわかりやすくご紹介します。

視聴ブース「4つのきもち」、「コレクションテーブル」

視聴ブース「4つのきもち」では、強く共感させられる広告、深く考えさせられる広告など、時代を超えて人の心を動かしてきた広告を厳選してご紹介。「コレクションテーブル」では、大型タッチ式モニターで1950年代から現在までのテレビCM、ポスターなど画面上に流れる約2,000点の広告資料を自由にお楽しみいただけるほか、引き札、錦絵など、古今を問わず一般にはなじみのない資料もご覧いただけます。



展示会場イメージ

報道関係のお問い合わせ先

アドミュージアム東京 担当：澤田タッカー sawadatucker@admt.jp

TEL:03-6218-2502 www.admt.jp

企画展示

「思いつく」を考える展 2017年12月1日～2018年2月24日

話題のヒット作、便利な日用品など、優れたアイデアの裏側には何があるのか。それらのアイデアを「思いつく」というのは、才能や感性の産物ではなく「思いつく方法を見つける」ための地道な努力の成果でもあります。そこで、「思いつく」の過程に迫り、考えることの面白さを伝えていきます。

展示を通して、「アイデアが生まれるって、こういうことか」「これなら自分にもできるかも」と、明日からの仕事や生活をちょっとだけ変えるヒントになればという思いから企画しています。



展示会場イメージ

ライブラリー

広告・マーケティングに関する専門ライブラリー。28,000点の図書資料を収蔵。リニューアルを機に、一般の方でも思わず手にとりたくなるような工夫を加え、より開かれた空間へと生まれ変わりました。



展示会場イメージ